

[設計条件]

- 「ひかりの建築に住む」として工夫した点を具体的に示すこと。
- 設計する住宅の周囲の状況がわかるように表現すること。
- 敷地や建物の規模は自由。住むための用途であること。
- どのような人が、どのように使うのか、わかるように表現すること。

[提出図面]

- A1 版用紙1枚(841mm×594mm縦使い)にレイアウトする。コピー、CADの使用などは自由。
- 配置図:1/100 敷地周辺との関係を表現すること。ただし、1階平面図と兼用する場合は1/50とする。
- 各階平面図:1/50 1面以上とする。敷地内の外部空間も設計すること。
- 断面図、立面図:1/50または1/100 それぞれ1面以上とする。
- 透視図または模型写真を少なくとも1点入れること。
- 提案に応じて図面の縮尺を変えてもよい。
- 図面はパネル化不可とする。

[応募要領]

- 1— 応募資格:原則として応募時に高等学校の建築科、またはこれに準ずる学科に在籍しているもの。共同作品の場合は、3名までのグループとする。また、同一人の応募は、2作品までとする。
- 2— 質疑応答:応募要項にないものは、すべて応募者の判断によるものとし、質疑応答は行わない。
- 3— 提出期限:2019年8月31日
提出はすべて郵送とし、当日の消印のあるものまでを有効とする。
- 4— 提出先:
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 日本工業大学 入試室
電話番号:0480-33-7676
- 5— 提出方法:同一人が複数応募する場合および同一学校から複数提出する場合は、応募作品をまとめて郵送する。郵送物のわかりやすい箇所に「設計競技応募作品在中」と朱書きする。
- 6— 応募用紙:提出図面には、応募者の所属学校名、氏名等は一切記入してはならない。応募用紙をコピーの上、氏名等を記入し、応募作品ごとに提出図面の裏面に貼る。

[応募作品の受取]

- 指導教員に対して応募作品の受取確認をメールまたはFAXで行う。
- 受取確認は提出期限後、1週間程度以内に行う。

[審査]

- 1— 審査委員:
西田司[建築家/オンデザイン]
西本真一[日本工業大学建築学部教授]
吉村英孝[日本工業大学建築学部准教授]
- 2— 入賞発表:2019年9月中旬ホームページ上にて発表。
- 3— 授賞式:
2019年11月3日、本学において行う。
出席する入賞者および指導教員の交通費は、本学で負担する。
当日は、審査委員のスライド・レクチャーと講評が行われる。
- 4— 作品展示:入賞作品は、授賞式の際に本学LCセンターにて展示する。

[賞について]

- 下記に対して、賞状及び賞品を贈呈する。
- 一等—1点/賞品:図書券(10万円相当)/副賞:10万円
 - 二等—1点/賞品:図書券(5万円相当)/副賞:5万円
 - 三等—1点/賞品:図書券(3万円相当)/副賞:3万円
 - 佳作—10点前後/賞品:図書券(1万円相当)
 - 副賞は、応募者の在籍する学校に指導費・研究費として贈られる。
 - 応募者全員に入賞作品集が贈られる。

[図面の返却]

- 応募作品は入賞作品を除き、提出図面のみを発表後2ヶ月以内に返却する。
- 入賞作品は返却しないので、必要に応じてあらかじめコピーをとっておくこと。また、梱包用の筒等は返却しない。

[出版・展示]

- 入賞作品の公開(展示・出版)は、本学の判断で行う。
- 入賞作品は、印刷物として刊行する。

[ホームページアドレス/メールアドレス]

HP=<http://nit-kenchiku.jp/activities/>(過去の入賞作品が掲載されています)
E-mail=kenchiku-compe@nit.ac.jp

裏のりしろ
(応募用紙を貼る際、この枠の裏側をのりしろにして下さい)

[第33回]
**日本工業大学
建築設計競技
応募用紙**
課題「ひかりの建築に住む」

- 応募作品ごとに、この用紙をコピーして使用し、のりやテープ等で図面の裏面に貼る。
- 共同作品の場合には、○欄に代表者名を記入すること。
- 応募用紙には、楷書で記入すること。
- 応募用紙と図面の作品タイトルに食い違いがある場合、図面を優先します。

整理番号
(記入する必要なし)

作品タイトル			
高等学校名 [正式名]	高等学校		
学校住所	〒	—	都道府県
	電話番号	—	—
	FAX	—	—
指導教員名	メールアドレス		
生徒氏名 学科・学年	フリガナ		科 年
	○		
	フリガナ		科 年
	フリガナ		科 年
	フリガナ		科 年